

携帯無線機のチャンネル切り替え訓練実施について

2020/10/17

<要旨>

10月24日(土)9時40分からの定例無線機使用訓練では、チャンネル切り替え訓練を実施します。

<チャンネル切り替え訓練の必要性>

外部の他者が同じチャンネルを頻繁に使用している場合、防災本部とブロックとの交信がうまくいかないことが9月の訓練で判明しました。このため、大災害時にはチャンネル切り替えが必須となることが予想されるためです。

★9月26日の訓練とその後の調査で判明したこと

9月訓練時、本部無線機の発信がブロック無線機に届かない事態が発生
10月4日の本部防災委員による調査結果、無線機器・アンテナいずれも正常稼働を確認
原因は当時外部の他者が同じチャンネル(7)で頻繁に交信していたためと推定
(外部の他者の交信を高感度の本部アンテナが検知し受信モードとなり、発信ができなくなっていた)

<チャンネルの切り替え要領>

防災本部	各ブロック	
	本部発信が聞こえるとき	本部発信が聞こえないとき
混信の少ないチャンネルを探す。(以下それを「X」と書く)		
7チャンネルで、各ブロックに対し「チャンネルをXに切り替える」と発信	本部からのチャンネル切り替え通知を聞き取ったときは、Xチャンネルに切り替え交信する	本部からの発信が聞こえない、あるいは今まで聞こえていた他のブロックからの発信も聞こえなくなったときは、15チャンネルに切り替えて、次の発信を繰り返す。 「こちら大平山丸山町内会〇ブロック。現在の使用チャンネルを連絡願います、どうぞ」
メインの無線機のチャンネルをXに切り替え、 予備の無線機は15チャンネルに切り替える。		
予備無線機(15チャンネル)に受信があったときは、新チャンネルXへの切り替えを通知する。		新チャンネルXに無線機を切り替えて交信する。

注 ○チャンネルXへの切り替え操作

携帯無線機の「チャンネルつまみ」(アンテナとボリュームの間のつまみ)を回して、画面に指定されたチャンネル数が出るようにする。

○15チャンネルへの切り替え操作

上記と同じ操作、または、チャンネルつまみの根元にある橙色ボタンを押す(続けて2度押すと元のチャンネルに戻る)

<操作・保管要領>

1. 操作

(4)送信/受信方法
送信(話すとき)・・・
緑色ランプ消灯を確認し、ボタンを押します。
受信(聞くととき)・・・
ボタンを離します。



(1) [電源/音量]ツマミを時計方向に回して電源を入れると聞き取り可能となります。回す量により音量調整ができます。

(2) [CH 7]となっていることを確認してください。

(3) 本部から別チャンネルの指示があったときはツマミを回しチャンネルを変えてください。指示がない限り触れないでください。



こんな感じで、「ボタンを押して」無線機に向かって話します。

(5) 使用チャンネル不明のときに限り、**橙色ボタンで「呼び出しチャンネル」に切り替えて照会してください。**

2. 保管

・配付する物品は以下の2つです。

(1) 無線機(バッテリー・アンテナセット済み)

(2) 充電器(電源コードセット済み)

・毎月の定期的な訓練終了後、バッテリーを充電してください。

・無線機はヘルメットと同じ場所に置き、災害の際直ちに使用できるようにしてください。

<通話マニュアル>

本部



こちら大平山丸山本部、
○(数字)ブロック応答願
います。どうぞ。

各ブロック



こちら、○(数字)ブロ
ックです。どうぞ。

<例えば>

こちら、大平山丸山本
部です。○(数字)ブロ
ック、
現在の状況をお知らせ
ください。どうぞ。

注:本部から指定されたブロ
ックの方のみお話しく
ださい。

注:送話の最初に
「こちら○ブロック」、
最後に
「どうぞ」と言ってくだ
さい。

こちら、○(数字)ブロ
ックです。
現在、各班に分かれて
安否確認
中です。どうぞ。

<ブロックから本部に緊急連絡>

こちら、大平山丸山本
部です。○(数字)ブロ
ック、
了解しました。

こちら、○(数字)ブロ
ックです。
○ブロックの・・・で
電線切断、
通行は危険です。どうぞ。